

よさの乗合交通 令和5年度運行実績報告書

成果	<ul style="list-style-type: none">□ 利便性向上：町営バスから乗合交通に置き換えた岩屋・市場、石川、桑飼の各エリアでは、町営バスより1日あたりの運行便数と乗降場が増加した。利便性向上により、利用者の2/3がリピート（2回以上利用）する結果となった。□ 無事故達成：運行主体である日本交通、桑飼地域支え合い交通運営協議会では、輸送の安全確保に努めた結果、期間中、無事故を達成した。□ 共創：行政・交通事業者・地域住民の連携による新たな旅客運送サービスの実証運行を実施したほか、商業施設と連携した利用促進キャンペーンの実施など、他分野との共創により、外出機会を創出できた。
課題	<ul style="list-style-type: none">□ 予約・利用に対する心理的・物理的ハードルの解消と広報強化：予約が面倒、利用方法が分かりづらいといった声が聞かれ、利用者の減少要因と推察される。また、アプリ予約の利用率が4割弱にとどまっており、アプリの普及も課題。ハードルを下げるため、各種媒体で継続的な広報をしていく必要がある。□ 住民ニーズへの対応：山田エリアは利用者数が少なく、要望のある石川エリアへの乗入れ（石川診療所・商業施設）の実現が課題（※令和6年4月から実施）。

令和5年度運行実績 | 概要

登録者数
【アプリ利用者数】

267人
【191人】

利用者数
【実利用者数】

880人
【71人】

運行日あたり
利用者数

6.9人/日

1便あたり
利用者数

1.5人/便

稼働率
(実運行便数/計画運行便数)

22.2%

リピーター率
【リピーター平均乗車回数】

63.7%
【11.8回】

相乗り率
(実運行便数に対し
乗合が発生した割合)

26.4%

予約比率

電話 アプリ
62 : 38

運行経費

7,669千円

運賃収入

216千円

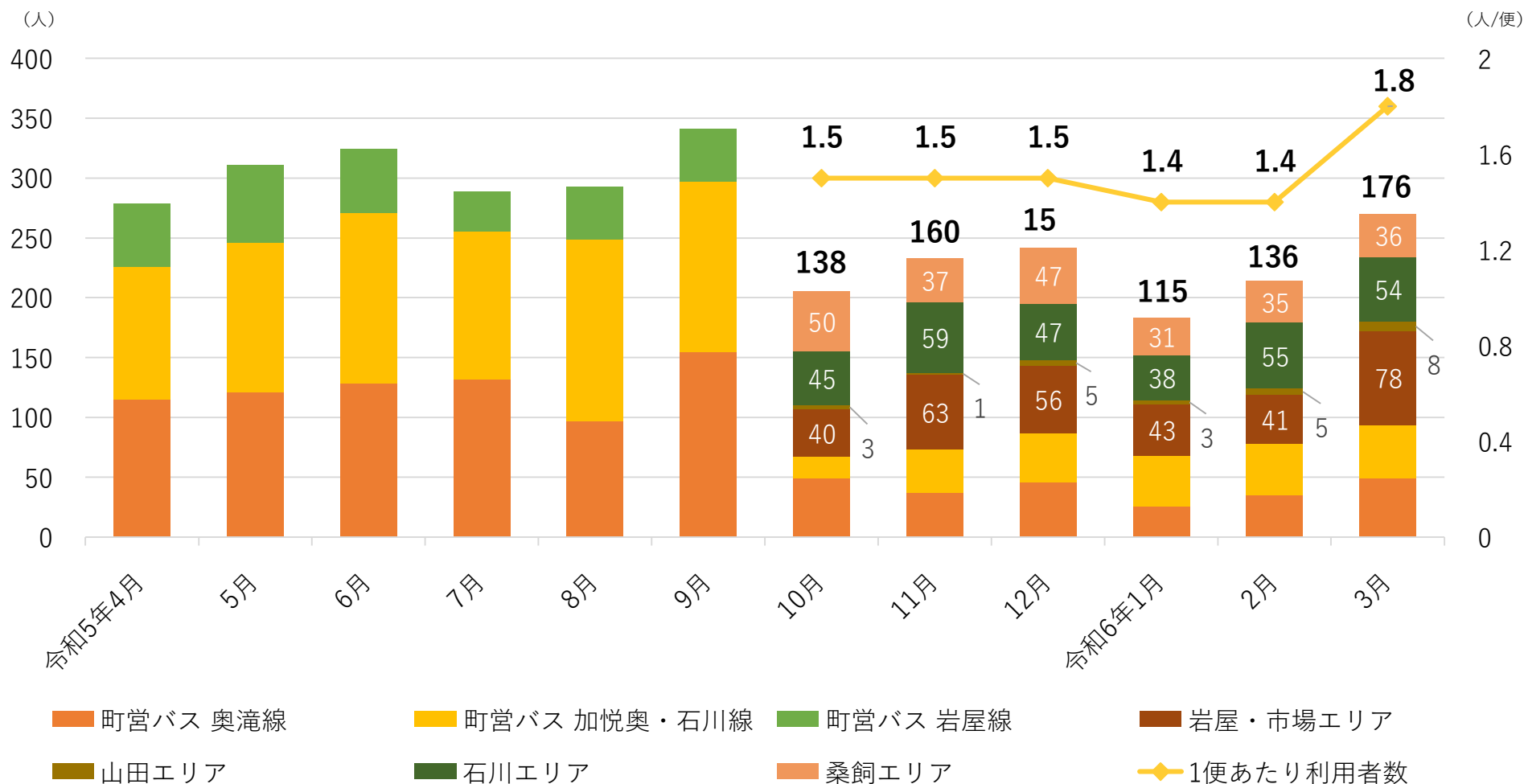
収支率

2.8%

利用者1人あたり
公的資金投入額

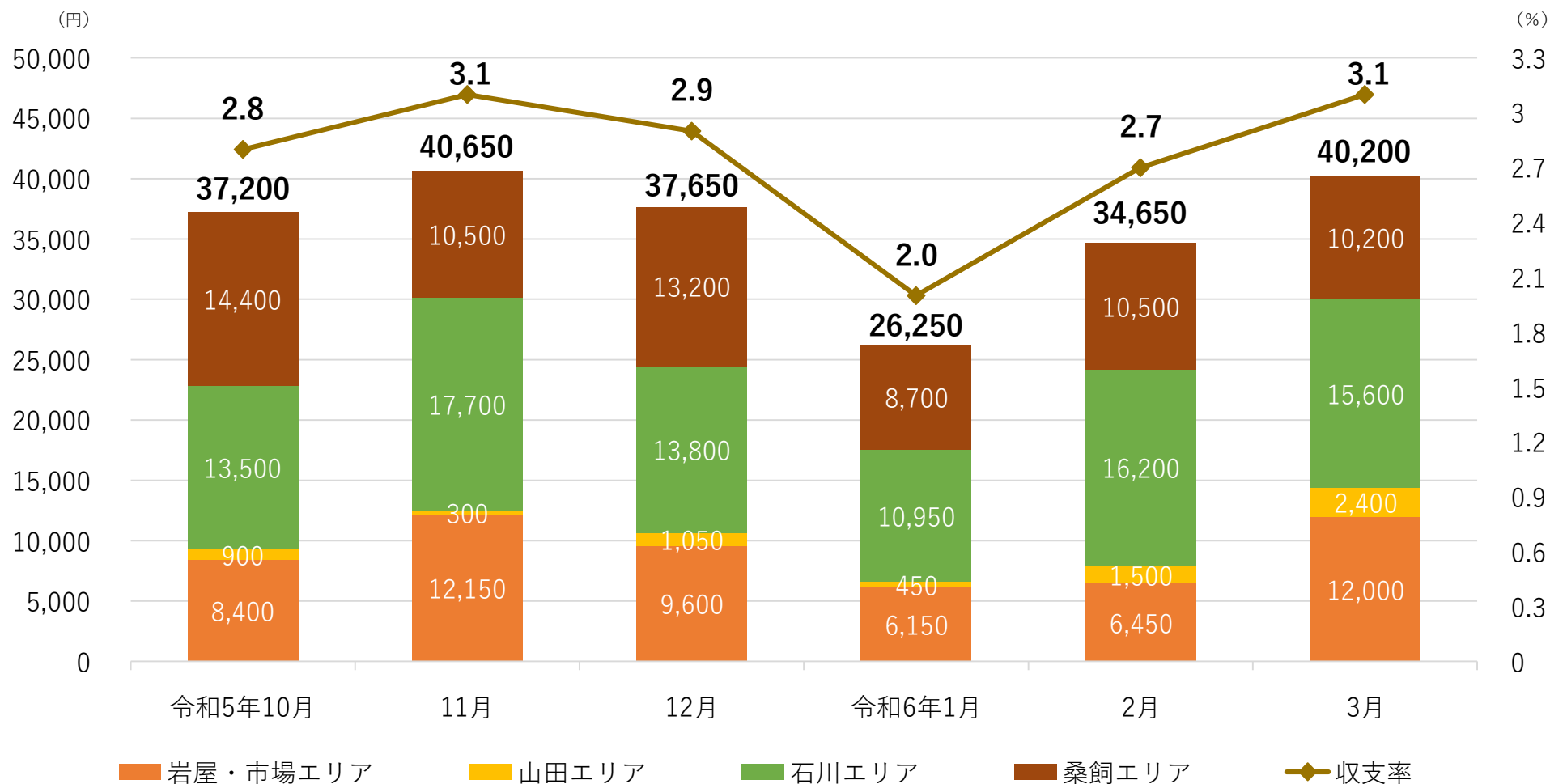
8,715円

令和5年度運行実績 | 利用者数・1便あたり利用者数の月別推移



上半期と比較すると利用者数は約30%減少した。予約が面倒、利用方法が分かりづらいといった声もあり、減少の要因と推察される。また、1便あたりの利用者は2人を切っており、乗合が発生していない便が多い。

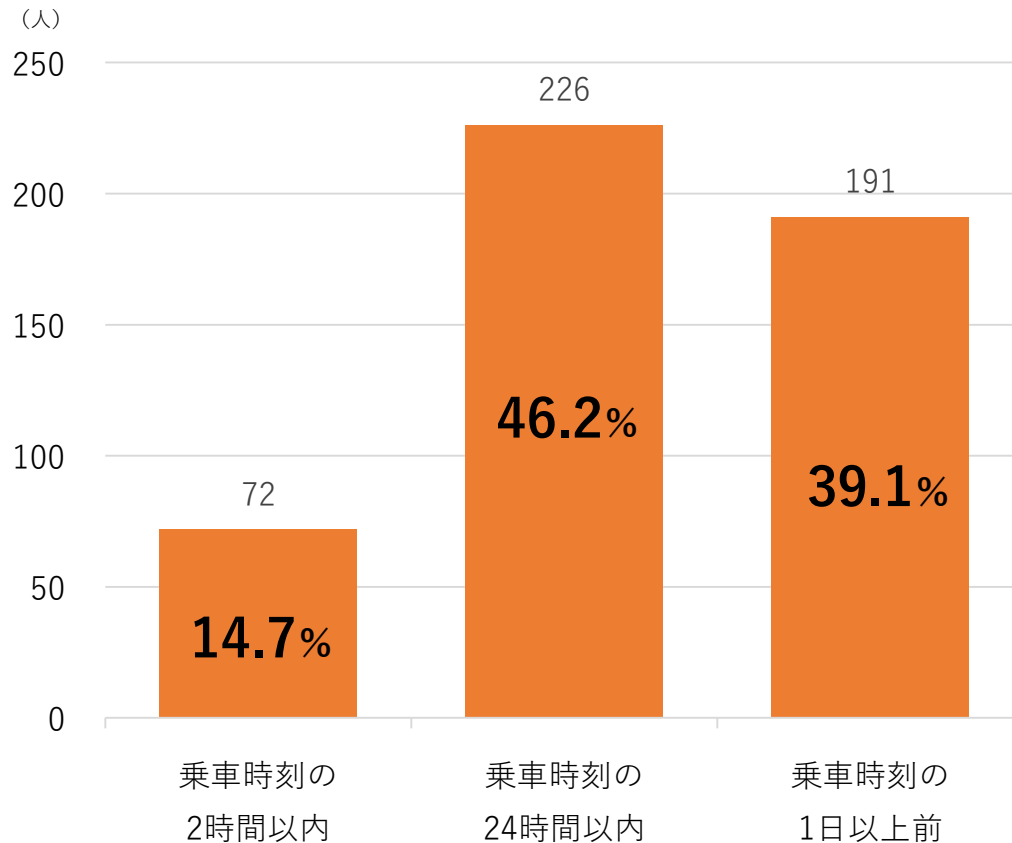
令和5年度運行実績 | 運賃収入・収支率の月別推移



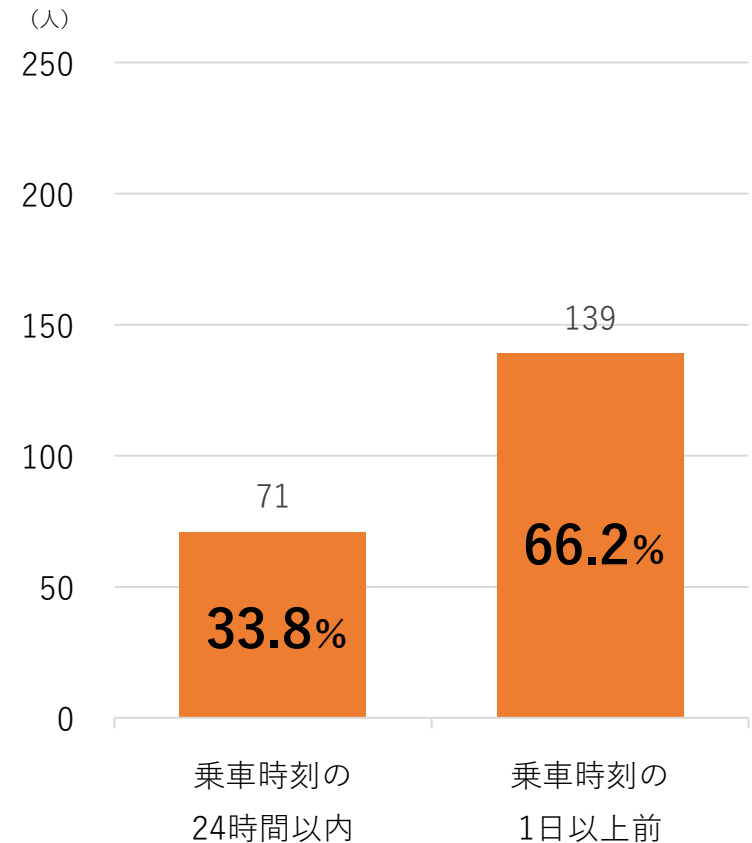
乗合交通の下半期の収支率は2.8%と非常に低い結果となった。ただし、稼働率100%（全便3人有料乗車）の場合でも、収支率は約30%となることから、公的資金の投入は不可欠な交通である。

令和5年度運行実績 | 予約作成のタイミング

岩屋・市場、山田、石川（※1時間前）

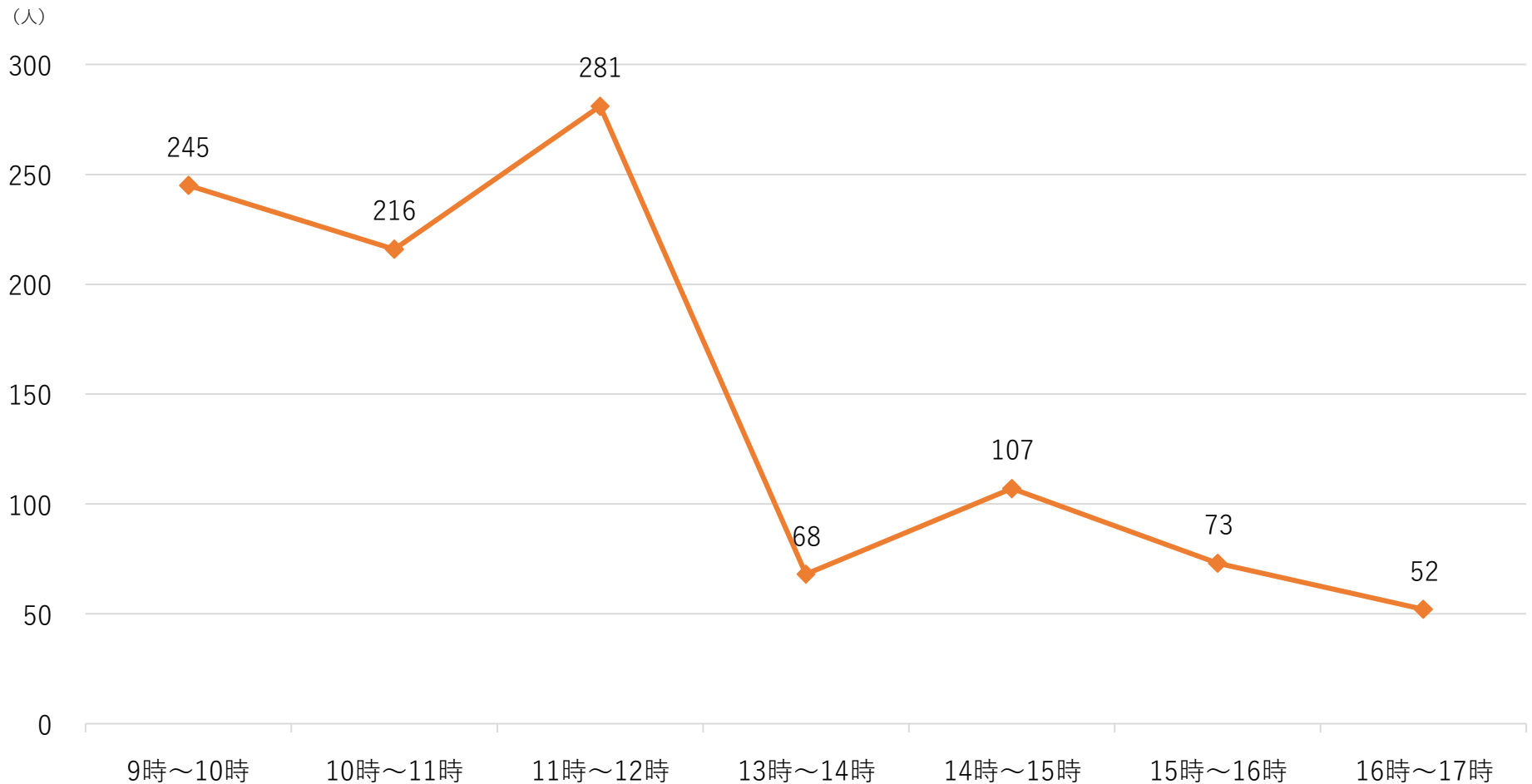


桑飼（※1日前）



野田川地域の3エリアでは、24時間以内の予約が最も多い。一方、桑飼エリアでは、2/3が1日以上前の予約となっており、利用者がサービス設計に適応し早めに予約をする傾向が見られる。

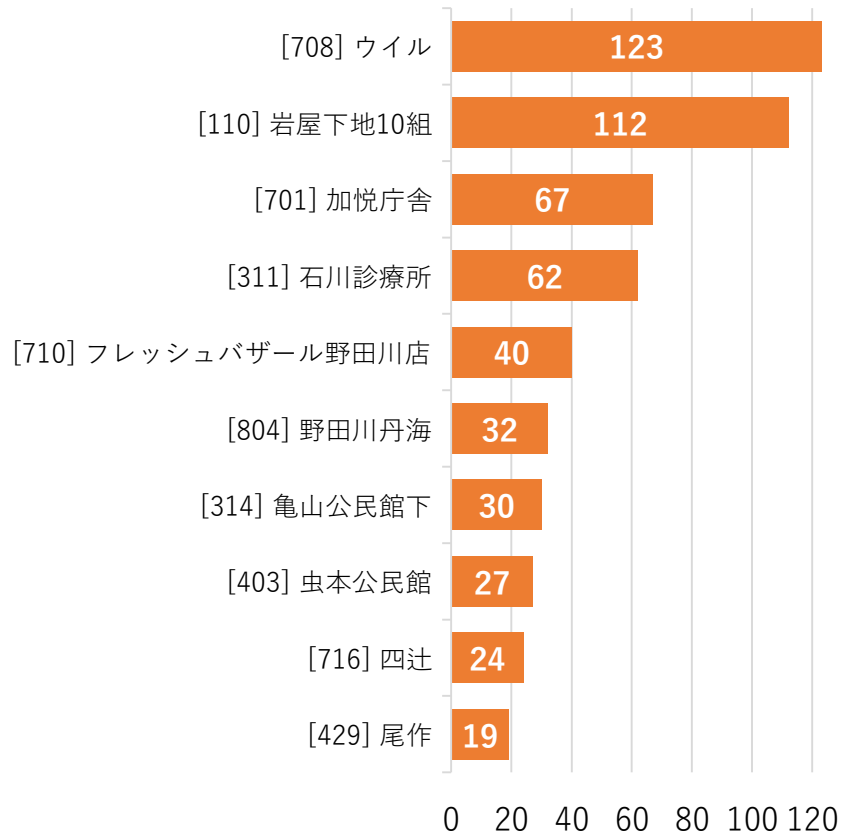
令和5年度運行実績 | 乗車希望時間帯



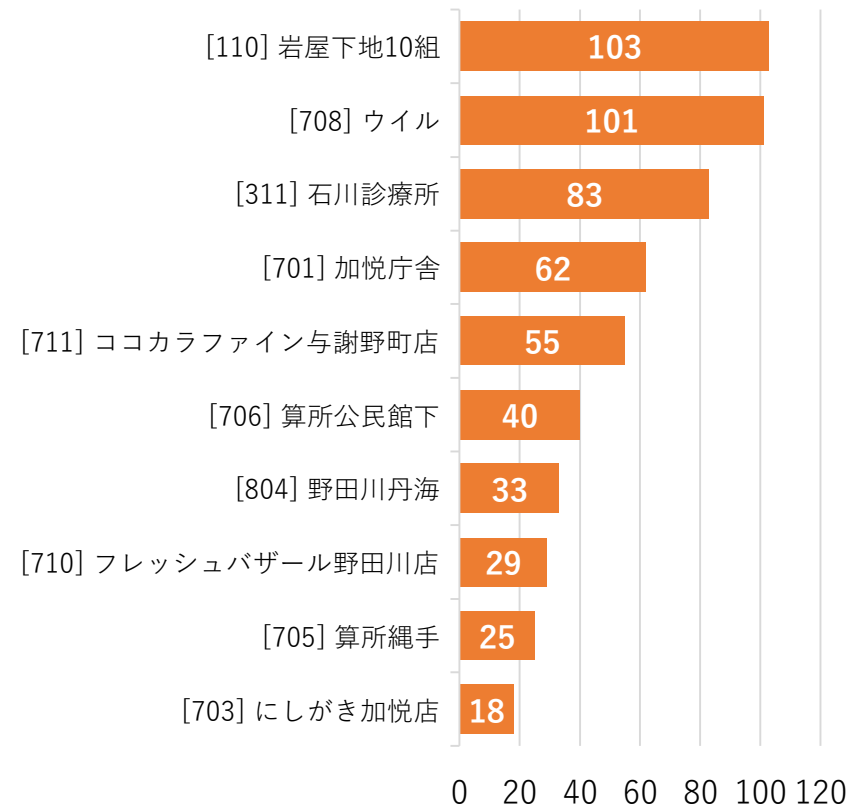
午前の時間帯の予約が、午後の時間帯の予約を大きく上回っている。特に、9時台の予約が多いのは通院、11時台の予約が多いのは買い物を目的としているものと推察される。

令和 5 年度運行実績 | 利用の多い乗降場

乗車地



降車地



買い物、通院（石川診療所、算所公民館下、算所縄手）利用が多いほか、交通結節点（野田川丹海）の利用も多く見られる。その他利用が多い乗降場は、リピーターの方が利用しているところ。